



# 福山市P連だより

## vol.109

発行  
福山市PTA連合会  
(事務局:まなびの館ローズコム内)  
TEL (084) 931-6210  
発行責任者  
道城 俊二

「21世紀を担う ころろ豊かな子どもを育てよう」  
親も子も ともに成長! ともに進化!

選手宣誓も圧巻のチームプレー



ホームへ生還!



ピッチャーが重要な役割



全力のスイング!



白熱!? 親睦!? 球技大会!!

真剣に親睦をはかった

### 赤い羽根 共同募金のご報告



9月29日に開催された球技大会の会場において、赤い羽根募金をお願いしたところ、14,055円の募金をいただくことができました。このお金は、赤い羽根共同募金へ10月9日に全額振り込ませていただきました。ご協力ありがとうございました。

かい拍手と笑いが起こりました。試合結果等はP6に掲載しています。

その素敵な熱のこもった選手宣誓に会場からも暖かい拍手と笑いが起こりました。

令和元年2019年9月29日

選手代表 城西ブロック選手一同

誓います

練り広げることが

この福山市体育館で

全力プレーを

ワールドカップパレーさながらの

チーム一丸となり

ヤングママ達で

我が子より若い先生と

家族に感謝し

早く送り出してくれた

練習や本日の大会に

日頃の不満はさておき、

我々選手一同は

以下全文です。

シュプレヒコールの形で選手宣誓を行いました。

からも、宣誓を受けました。

も予期せぬ陣形に何が起こるのかと驚きを隠しながら

今年度のソフトバレーボールの選手宣誓は道城市P

連会長を囲む形でチーム選手が並び、会長にとつて

なっており、これを見るのも楽しみの一つです。

手達による親睦と白熱したプレーを見ることが出来

ました。選手宣誓は担当校が趣向を凝らしたものと

各ブロック協議会で代表チームを結成したり、ブ

ロック内での予選会を開いたりし、選りすぐりの選

館で行われました。

会別親善球技大会が開催され、ソフトボールの部が

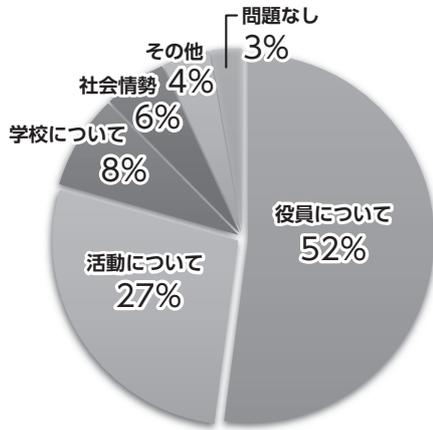
9月29日(日)に福山市PTA連合会ブロック協議



7/11  
**小学校部会 意見交換会**

参加者数 50校  
 アンケート 34校

A) どのような課題があるか



7月11日(木)福山市市民参画センターにおいて2019年度小学校PTA会長意見交換会が開催されました。「各学校・PTAで抱えている課題について」をテーマとして、どのような課題があるのか、その原因や背景、PTAは課題に対して何ができるかを8つのグループに分けてグループ討議が行われました。「より良いPTA活動を目指して改革を行ったが大きな反発があった」「本部役員の成り手が少ない」「総会への出席率が低くPTA活動への関心が低いと感じる」など多くの課題あり、それに対して各参加者から忌憚のない意見が出されていました。閉会后に、「限られた時間ではあったものの、それぞれ会長という立場から共感し合える内容も多く、今後の活動において大変参考になった」という感想が述べられました。



B) 原因や背景はなんだと思われるか

C) PTAは何ができると思うか

主な問題	内訳	主な意見	主な原因	主な解決策
役員について	選出	選出方法の問題やなり手不足、家庭環境の多様化による問題など	負担が大きそう、決め方に問題がある、親同士つながりが少ない。	楽しい活動をして多くの方に知ってもらい、様々な意見をくみ上げる、活動を簡略化などして負担を減らす、活動ごとに役員以外のお手伝いを募る、学校と連携を図る。
	運営	役員会の時間や地域でのあて職などで負担が大きい、マンネリ化など	任期の問題、役員間のコミュニケーション不足、慣例化、地域のあて職が多い	任期の改善、会議の回数を減らす、組織や行事の見直し
活動について	意義	関心がない、意識が低い、必要性がない、市P連に属する意義など	発信しても伝わらない、任期の関係で意識の醸成がない、システムの見直しもされない、個人優先、損得勘定	科学的マネジメント、つながりを持つ、役割を伝える場、教えてほしい
	プール	猛暑や監視の負担	猛暑で熱中症の心配、共働きの増加	アンケートを取る
	PTC	続けるかどうか、世帯数が少ないので制限がある	世帯数減少、共働きの増加で休みづらい	アンケートを取る、出来る範囲で行う
	懇談	出席者が少ない	マンネリ化	回数を減らす
学校について	その他	活動費の減少、PTA管理施設の老朽化、PTA図書の利用法など		PTA施設の別の利用方法の検討
	再編	地域や役員とのコミュニケーション不足、会長として行政と地域の問題にどう関わって良いかわからない。ほかのところの状況も聞いてみたい。	少子化、調整区域	PTAは情報共有に努める
	先生	先生のPTAの関わり減少、学校からの情報解禁不足	教育カリキュラムの改定で時間数の増加や働き方改革	
その他	その他	子供の学びメニューが増加	より高度な教育が必要となっている	保護者という立場が一生において短いと認識しておく。
	その他	挨拶ができない子や自己中心的な子が増えた(保護者も)、親の多干渉	インターネットの普及、地域との交流不足、保護者の責任感の低下と認識不足	地道な挨拶運動を行い挨拶を習慣づける。

7/16 役員研修会

福山100NEN教育  
変化をためらう習慣を改める

7月16日(火)、福山市市民参画センターにおいて2019年度福山市PTA連合会 役員研修会が開催されました。

福山市教育委員会 学校教育部長 田丸誠様より「福山100NEN教育」についてお話頂きました。

田丸様は英語の教員を経て現職につかれており、現場の経験を取り入れた講演で非常にわかりやすい内容で皆様熱心に耳を傾けられていました。「昨今、不登校の児童生徒が増えている中で、これまで学校が当たり前とってきたことを見直す必要があるのではないかと」「それぞれの児童生徒を大切に教育をすることで、個々の児童生徒の長所を無理なく伸ばし自信をもって学校生活を送ることが出来るのではないかと」

「変化をためらう習慣を改める」という課題から、研修会は始まりました。「児童生徒や保護者は、勉強し、大



田丸教育部長による100NEN教育の説明

学へ入り、就職をする、と当たり前のように考えている。本当にそうだろうか。「今ある職業は、将来なくなるかもしれない。」「これからの変化の激しい社会を生き抜くために必要な力とは何だろうか?」「あるデータでは企業が求める人材の要素は、理系文系の両方において1位は、実行力、主体性だった。」「続く2位、3位は創造性、コミュニケーション力などで、専門的な知識は下位のほうだった。」「何かを知っている、ということだけを求められていない。」「日常生活においてこのことを肌で感じている方もおられるかもしれないが、これは、これまで学校が行ってきた教育と、社会が求める人材とに、ギャップがあることを示している」と、児童生徒を取り巻く社会情勢と、従前の教育とのギャップについて説明をしてくださりました。そこで、福山市教育委員会は、この事実をしっかり向き合い、今後の求められる学校教育として、大きく2点説明されました。

①児童生徒自身が、自分で決断し、創造しそして、それを実行する力を身に付けさせる。

②教員、保護者等の周囲の大人の意識改革。

これから先、AIが発達して、人間雇用が奪われていく中で、人間がどの様にして、雇用を維持するのか? その為にはどの様な教育が必要か。学校・保護者・地域が具体的に考え実行して行く必要があると思いましたが、世界に比べてその力が、世界的にみても著しく低下した現代の日本の学力や世

8/23-24

第7回日本PTA全国研究大会兵庫県大会  
メンタリストDaiGoから学ぶ「育て方間違っていないよ」

8月23日(金)24日(土)の2日間、「第7回日本PTA全国研究大会」兵庫県大会に参加しました。

23日(金)は兵庫県内10ヶ所に設けられた分科会場のうちの1つ、明石市民会館にて開催された特別第2分科会「家庭・地域とともにある学校づくりをめざして」にメンタリストDaiGo氏



メンタリスト DaiGo氏  
ユニティ・スクールという仕組みづくり

界で通用する人材を育てる事になるのではないのでしょうか。

講演後の質疑応答では、積極的な意見交換が行われ、

「子どもの教育改革が叫ばれているが、同時に保護者も新たな教育について学習することも必要ではないか?」

「子どもの宿題で答えが書いていない最近の教科書では答えが分からず泣きながら宿題をする子どもへの対応などはどうすればよいか?」など。

各家庭が抱えている個別の問題から学校教育全体の問題など、多面的な視点での質疑応答を会場の皆様は熱心に聴かれました。

今回の研修会は「福山市100NEN教育」というコンセプトのもと家庭教育と学校教育が連携し、世界で活躍する人材を育てるために、主体性や実行力を育成する9年間を見通したプロセスが提案されていると感じました。

参加しました。兵庫教育大学教授・小西哲也氏の講演では、「ユニティ・スクールとは何か?」を分かりやすくお話して頂きました。講演会、パネルディスカッションの内容は学校ではマンパワー不足で先生方がやりたい事の理想はあるが日々の業務に追われて出来ない現状がある学校だけでは解決できない事を地域、PTAが一体となって協力し、良い方向に進めて行く事、また地域全体で様々な活動を通して学んでいくというものでした。「各地域、単位PTAでも昔からすでに活動しているものもあるな」と思う内容もたくさんあり、ユニティ・スクールとは「地域と学校を中心とした町づくり活動の総称」だと思いました。同じ地域に住む人と人のつながりを大切に、大小様々な問題を協力して解決していったり、祭りなど楽しむ行事は一緒に盛大に楽しんだり、そういった活動は必ず子どもが見ている!その子どもが将来地域の役に立つ人材へと育っていく!そう感じさせる分科会でした。

24日(土)は神戸市、ワールド記念ホールにて全国各地から約8400人の参加者が集い、TVでもおなじみのメンタリストDaiGo氏の講演会が盛大に行われました。講演は質疑応答形式で行われ、質問に対して、DaiGoさんが各分野の研究結果、論文に基づいた明快で適切な回答を次々とされました。例えば、「自分の育て方が悪いから...間違ってたのか?」という質問に対しては、こどもの性格は遺伝が50%育て方で影響は6%、後は周りの友達、環境だという回答をされました。それは私にとって衝撃的な事実でした。DaiGoさん自身の小学2年生から約8年間いじめられていたという経験、そこから今に至るまでの話で、「自分が変われば周りも変わった」という、1つの経験がきっかけで、それまで持っていた「誰かがいつか助けてくれる、いつか環境が変わるかもしれない」という他力本願な考えを変える事が出来た。そして、そこから努力をかさねて今の自分にたどり着いたという話を聞き、DaiGoさんのイメージが変わったのと同時に、学ぶという事の大切さを改めて考えさせられました。「子どもを変えようとするのではなく保護者である自分自身を変える。その姿を見せることで、その意志力が子どもにも感染する。こんな子どもになって欲しいと願うなら、まずは自分がチャレンジを!」DaiGoさんのこの言葉は、子育てに留まらず、人生においても、とても大切な事だと感じました。私にとってこの2日間は本当に有意義なものとなりました。これからも、子どもたち、先生方とともに、福山市PTA連合会として学びを大切に、変化を恐れず、チャレンジして行きたいと思えます。



神戸南京町にて

7/18

# 中学校部会 意見交換会

7月18日(木)福山市市民参画センターにおいて表題の福山市PTA連合会 中学校部会 意見交換会が行われました。

開会の挨拶を、中学校部会長中込ひとみ、続いてPTA連合会会長道城俊二が挨拶され、各校5つのグループに分かれテーマに沿って意見交換を行いました。

- ・自己紹介と各校PTA活動の紹介・現状
  - ・他校PTAに聞いてみたいこと
  - ・学校や地域に協力していること
  - ・福山市教育委員会に要望すること
- 以上4点について各グループで意見

見をまとめて、発表を行いました。

各学校での現状として、毎年PTA役員の成り手がなかなかいないという意見が多く出ていました。

学校や地域に協力していることでは、地域行事(見守り活動・夏祭り、地域清掃等の公民館行事)に積極的に参加されているという意見が多く出ていました。

また、中学生は非常に多感な時期で、その中でPTAとしてどうあるべきか?、何ができるか?等の活発な意見も出ていました。各グループとも終始、和やかな雰囲気です。



▶各校による意見発表

9/15

# 第47回広島県PTA研究大会



▶福山市参加者集合写真



▶開会式伝統行事のつとめた鏡開き



アトラクション・生徒による落語

9月15日(日) つかいち文化ホール ウッドワンさくらびあにて第47回広島県PTA研究大会はつかいち大会が盛大に行なわれました。福山市からは残暑厳しい中190名が参加されました。実践発表では各単Pによるお話で今子どもが減少し、取り巻く環境が



▶各学校による研究発表タイトル

厳しい中で、どの様な取り組みをしていかに子ども達と深く関わっていくかというお話をされ各PTAが色々なアイデアを実践して素晴らしい結果を出しておられました。

アトラクションでは「子ども落語」が行われ伝統的な日本文化に触れ、それを現代の子どもが表現している事に対して落語が好きという思いと、一生懸命さが伝わり会場の皆様もとても興味深く聴き入っておられました。

その新鮮で可愛らしい姿に会場は温かい笑いに包まれていました。やはり子どもが楽しく興味をもつて色々な事に挑戦する姿は素晴らしいと感じると同時にパワーを頂きました。

記念講演は人工知能研究者 黒川伊保子先生による「家族のトリセツ〜親と子の脳科学〜」のお話でした。こちらもとても興味深い講演でした。

まず人工知能というワードから難しい話と思われがちですがそれを黒川先生は、身近な事で分かり易くお話下さり、会場は笑ったり、納得したりと、大盛況でした。

やはり、男性と女性の脳は機能が違いお互いの違いを理解してこそ、夫婦の絆が深くなりその夫婦の良好な関係が、子どもと親の良好な関係に繋がりはひいては地域の繋がりにな

るといふ事を勉強させて頂きました。家族みんなが忙しい現代の社会にとって相手を意識して理解するという内容でも有意義な講演でした。そして終わりに来年の会場となる呉市にバトンタッチとして大会旗の引き継ぎが執り行われ、呉市PTAが来年に向けての力強い抱負を述べられ盛会のうちに大会終了となりました。



▲研究発表者への講評



▶次年度開催員PTAによるPR  
県PTA会長と呉市マスコットキャラクターの呉氏

第38回中学生の主張大会

大成館中3年の主張に金星!

7月13日(土)福山市北部市民センターにおいて「第38回中学生の主張大会」が開催されました。

福山市内26校の中学校生活において経験したこと、感じたさまざまな内容について発表を行いました。どの発表もこの大会に向けて、一生懸命練習してきた様子がかうかがえました。学校の代表としてこの場に立つということはとても緊張することだと思います。でもその緊張をととても良い経験にしようと思ふに満ち溢れた堂々とした話ぶりでした。

主張内容は、「幸せについて」「大切な人との関わり」「自分の感情との向き合い方」「自分の住む街のこと」「パラスポーツを通して自分と人間の可能性」「逆転の発想」「後悔から学んだこと」等々、生徒一人一人の主張に時に涙するほど心打たれる内容でした。

**中学生の主張**  
— 中学校生活を考える —



全力で発表した生徒たち

思ったりすることを自分で考え文章にまとめることで、自分に自信を持つたり、夢を抱いたり、自身の生き方を考えたりする。その時間はまわり道にしても経験していけば何にも代えがたい大切な自分の宝となると思います。

11月1日 福山市一斉あいさつ運動

「笑顔で顔見て、お・は・よ・う!!」



11月1日(金)「市内一斉あいさつ運動」を行いました。市内各学校において、PTA役員だけでなく、児童会、中学校生徒会、先生、そして地域の方にも参加していただき、校門付近や通学路で「おはよう」のあいさつを交しました。



朝起きて、みなさんはきちんと家族内であいさつできていますか? 通勤時間や通学時間の違いから、朝からすれ違ってしまふこともあるかと思いますが、少しでも、顔を合わせる時間があれば、「おはよう!」からはじまり、その日一日の会話へと発展していくといいですね。また、家を出てからも、学校へ行くまでの間、地域の方、保護者、先生たちとあいさつができるようになれば「安心」。さらに、相手の顔を見てあいさつできれば、合格。目をキラキラさせて、うれしそうに笑顔であいさつができれば満点です。特に小学校低学年の子どもほど嬉しそうに満点で挨拶してくれる子が多いです。高学年になると照れもあるのでしょうか、下を向いたまま「おはよう」と言って、その場を通り抜けようとするのも多々見受けられます。けれどもそこは一工夫すれば大丈夫。ハイタッチをしてあげるなどすると、子どもたちの表情も上向きに変わって、少しだけでも元気になっていきますよ。あとは、後ろに続く、下級生のみならず、同じように真似してハイタッチしてくれれます。むしろ、低学年のほうから求めてくることもあります。

ソフトボール

熱戦を繰り広げたソフトボール大会

9月29日(日)福山市PTA連合会  
ブロック協議会別親善球技大会が開催  
され、ソフトボールの部が箕沖球場で  
行われました。

心配されていた天候にも恵まれ暑い  
中での大会となりました。開会式では  
福山市教育委員会学校教育部長 田丸  
誠様のご祝辞、公立小学校校長会会長  
松岡智浩様、萌友会会長 池田淳二様  
のご臨席を賜り、加茂ブロック 宮地  
章宏さんの選手宣誓で大いに盛り上が  
りました。



東ブロック



各チームとも、この日のために一生  
懸命練習した成果を発揮し、日ごろの  
運動不足を痛感したりしながら応援に  
も熱が入り、白熱した戦いが繰り広げ

られました。どのチームもよく声が出  
ていて、とても楽しそうにプレイして  
いるのが印象に残りました。各チーム  
の親睦も深まったと思います。

結果は優勝

沼隈内海ブロック



2位 済美ブ  
ロック、3位  
誠之ブロッ  
ク並びに沼隈内  
海ブロックで  
した。おめで  
とうございま  
す。

誠之ブロック



最後に担当  
ブロックの誠  
之ブロックの  
皆様、運営お  
疲れ様でした。  
お陰様で大変  
楽しく有意義  
な時間を参加  
者全員で過ご  
させていただきました。  
ありがとうございました。  
ありがとうございました。

済美ブロック



2位

ソフトバレーボール

チームワークで勝ち取った2連覇

9月29日(日)福山市PTA  
連合会ブロック協議会別親善球  
技大会が開催され、ソフトバ  
レーボールの部は福山市体育館  
で行われました。

前の週の台風の影響で地域の  
運動会と重なり、参加できない  
ブロックもありました。

当日は湿度が高く、蒸し暑さ  
を感じる体育館でしたが、20  
チーム約270人の選手が爽や  
かな笑顔で元気の良い挨拶と  
ともに会場入りされました。

開会式では来賓の福山市議会  
議長代理 副議長 熊谷寿人様、  
福山市教育委員会 教育長 三  
好雅章様、福山市立公立中学校

校長会 副会長 吉川真一様の  
ご臨席を賜り、ご祝辞をいただ  
きました。

城西ブロックの選手全員によ  
る息の合った選手宣誓で会場が  
和み、試合が始まりました。

アリーナ(2コート)、体育  
館1、体育館2の3つの会場に  
分かれ試合が繰り広げられまし  
た。どの会場からもアタックが  
決まった時の力強いボールの音  
と大歓声が聞こえ、これは親善  
ではなく本気?と感じる程の  
熱気でしたが、チーム内で励ま  
す姿、相手チームを思いやる姿  
も見られ、親睦が深まったので  
はないかと思えます。

決勝トーナメントでは加茂ブ  
ロックと新市ブロックの白熱し

た試合の結果、加茂ブロックが  
優勝しました。優勝インタ  
ビューで神原キャプテンは「子  
どもが卒業の年なので、最後の  
球技大会で優勝することができ  
て本当に嬉しです。」と喜ばれ  
、ボールを落とさない秘訣は「と  
にかく勝ちたい一心です! ボー  
ルを拾わない」といふトスもあ  
げられないし、アタックに繋がら  
ない。」と話して下さいました。  
加茂ブロックの選手は試合前の  
練習からよく声を出されていま  
した。

チームワークで勝ち取った優  
勝でした。

結果は、優勝加茂ブロック、  
2位新市ブロック、3位東雲ブ  
ロックと沼隈・内海ブロックで  
した。おめでとうございます。

最後に、運営担当の城西ブ  
ロックの役員の皆様、暑い中大  
会の為に動いて下さったり、気  
配りをして下さりありがとうございました。



優勝 加茂ブロック



2位 新市ブロック



3位 東雲ブロック



3位 沼隈内海ブロック

11/2

# 第49回日本PTA中国ブロック研究大会 広島市大会

11月2日(土)広島国際会議場  
フェニックスホールにおいて「伝えよう思いやりの心 広げよう平和のまち広島から」未来へ生きる子どもたちのために Peace!と題し日本PTA中国ブロック研究大会が開催されました。

← 午前中の実践発表では  
全国いじめ問題子どもサミットの報告

← いじめ問題子どもサミット

← いじめ問題への取り組み

← いじめ問題大人サミット  
いじめ問題という子どもたちにとっても、大人にとってもなかなか向き合おうが大変なテーマに真剣に向き合い話し合った内容の報告でした。

← 周りを变えるのは難しく、やはり自分自身がいじめは絶対にしない!という強い意識が重要だと改めて感じさせられる内容でした。

← 午後からの、戦場カメラマン 渡部陽一氏の記念講演では戦地での子ども

← どもたちの現状を写真と共に話して頂きました。

← 人種、宗教の違いで戦争が起こり、その犠牲になるのは子どもたちだという現実。

← 変えたくてもそう簡単には変えられない現実。それでも、その事から目を背けるのではなく、現実を知り、平和な世界を一人一人が願い、そこに向かって何か出来る事はないかと行動に移す事の大切さを感じました。やはり、全ては自分自身なんだと考えさせられる1日となりました。



歴代会長表彰・H30年度大塚会長



福山市参加者集合写真



アトラクション



ランチタイムの親睦

11/16

# 第2回福山地区PTA連絡協議会



懇親会



▶ハンドベル

← 選出、令和4年度日本PTA国際交流・国内研修事業には府中市PTA連合会から中学2年女子がエントリーするこ

← した。令和6年度は広島県PTA研究大会で福山市PTA連合会が実践発表を行うことになりました。発表校は当年令和6年の4月20日までに報告することになっています。

← その後、続けて懇親会が開催され、神石郡PTAさんによるハンドベルの演奏アトラクションがありました。演奏者曰く、思い付きで発案して数回しか練習できていないと言われていましたが、とても素敵なエーデルワイスの演奏でした。ほか、各地区からの状況報告など、県東部をまとめていくうえで大切な親睦をはかってきました。今後も、この東部地区がまとまっていくことを願っています。

11月16日(土) 神石高原ホテルにて福山市東部②地区の協議会、懇親会が開催されました。福山市東部②地区とは、福山市、府中市、神石郡の3PTA連合会の集まりで、この地区で毎年3回の協議会、懇親会を開催しています。略して福P協と呼んでいます。今回の協議会では、今後の広島県PTA研究発表大会で実践活動を発表する担当を決めました。令和3年度は府中市PTA連合会か



2019(R1)

# 福山100NEN教育 4th year



「『子ども主体の学び』全教室展開」～学びが面白い～

福山市教育委員会 学校教育部長 田丸 誠

福山市教育委員会では、福山市施行100周年を迎えた2016年(平成28年)1月、次の100年へ、更にその先の未来に向かって、「福山100NEN教育」として宣言し、取組を開始しました。

子どもたちを取り巻く社会は大きく変化し、正確に早く処理したり覚えたりする仕事は、機械に代わられると予想されています。私たち人間は、環境・貧困問題など、答えのない課題に対して、多様な価値観を持った人たちと一緒に粘り強く考え、解決していく力が求められます。こうした力を、「福山100NEN教育」では、変化していく社会の中でも通用する「21世紀型スキル&倫理観」とし、日々の授業を中心としたすべての教育活動で、その育成を目指しています。

4年目である今年度のテーマは、「学びが面白い!」「カブール」です。色や形が様々であることで、楽しく豊かな世界が広がっていくように、子どもたちそれぞれがそれぞれであるという大切さを、一人一人の子どもたちが「面白い!」と実感する学びづくりを取り組んでいるところです。子どもたちは、「計算や文

字を読むことができても、その内容を理解できていない」と「教師が教えた通り順番に理解するのではなく、子ども同士で話したり、活動したりしながら個々のペースで言葉や数を獲得している。」「子どもの疑問や思考は、様々な経験や知っていることに触れながら広がり、教科や学年の枠を越えていく。」ことなどが、これまでの研究や取組から明らかになっています。こうした一人一人異なる学ぶ過程に即した子ども主体の学びの実現に向け、子どものつよみや発見から柔軟に計画を変更したり、遊びながら試行錯誤できる活動や子ども自ら選択し決定する場を設定したりすることで、子どもたちが学ぶことの面白さを実感できる授業の実現を図っています。

「福山100NEN教育」が描く未来は、変化の激しい社会の中で、「子どもたちは、自分の夢の実現に向けて、ローズマインドを胸に、福山で、日本で、世界で、たくましく生きていく。」という姿です。子どもたちが生まれ育った環境にかかわらず、自ら学び続ける力で、たくましく未来を切り拓いていけるよう、今後とも取り組んでまいります。

2019年10月現在の内容です。

## 福山市PTA連合会の小学生・中学生総合保障制度

大切なお子さまを取り巻くさまざまな危険に備えます。一度の加入手続きで中学校卒業まで補償が更新されます。

- |                |              |                              |
|----------------|--------------|------------------------------|
| 1. 個人賠償責任補償    | 4. 熱中症補償     | 7. 育英費用補償                    |
| 2. ケガの医療費実費補償  | 5. 細菌性食中毒補償  | 8. 病気死亡見舞金                   |
| 3. ケガの補償(傷害補償) | 6. 学校管理下産産補償 | 9. 病気補償(疾病入院医療保険金 疾病手術医療保険金) |

特長

- ☆高額化しているお子さまの自転車事故による賠償責任を重視した市P連だけの保障プラン!
- ☆団体契約だから掛金が割安
- ☆ご家族の賠償事故にも対応! 示談交渉サービス付き(国内事故のみ)
- ☆飼い犬の咬みつきによる賠償事故にも対応。
- ☆ケガによる入院・通院で10万円以下のご請求は電話で即対応!(国外事故もOK)
- ☆健康相談・メンタルケアカウンセリング他、様々な加入者サービスがあります。

2019年度 自転車による事故が問題になっている今... 自転車総合保険セットプランにてご案内しております。

自転車利用者が歩行者等にケガを負わせる交通事故が後を絶ちません。



もし、自転車事故の加害者になってしまったら...!?

こんな高額賠償事例も! 「わざとじゃない」では済まされないことも!

事例1 坂道を下ってきた小学5年の少年の自転車が歩行者の女性(62歳)と衝突。女性は頭がい骨骨折等の傷害を負い、意識不明となった。

**9,520万円** 平成25年 神戸地裁

事例2 男子高校生が自転車で車道を斜めに横断し、対向車を自転車で直進してきた男性会社員(24歳)と衝突。男性会社員に重大な障害(言語機能の喪失等)が残った。

**9,266万円** 平成20年 東京地裁

事例3 男子高校生が自転車で歩道から交差点に進入した際、自転車で乗った女性(60歳)と衝突。女性は頭がい骨骨折で9日後に死亡した。

**3,140万円** 平成14年 さいたま地裁

※補償の有無、金額はプラン毎に異なります。この広告は制度の概要です。詳しくは各学校で配布されるパンフレットをご覧ください。取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に学校を通じて構成員全員に配布されます。

制度引受保険会社 **AIG損害保険株式会社** 中国・四国地域事業本部(広島支店)

〒730-0011 広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル TEL 082(535)6010 受付時間:午前9:00~午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

取扱代理店・扱者 **NOSCOインシュアランスサービス(株)** 〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 新八丁堀ビル5F TEL 082(228)1222 受付時間:午前9:30~午後5:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

[承認番号 S-200057(2020-11)]

2019年度 自転車事故等による賠償責任も 小学生5年男児の自転車事故で賠償約9,520万円(引受保険会社)。

**福山市PTA連合会の小学生・中学生総合保障制度** ご加入のおすすめ

1年分の掛金 **3,290円** (ケガラック等、月々30円とさせていただきます)

お子さまが加害者!? **個人賠償責任補償** (示談交渉サービス付) **24時間補償安心!** (ご家族全員補償)

自転車事故等による **国内無制限で補償** (賠償責任も) 小学生5年男児の自転車事故で賠償約9,520万円(引受保険会社)。

**保険金も電話一本で即お支払い!** (引受保険会社)

**簡単!ご加入手続き** 加入希望の担当の先生に提出するだけで掛金のお支払も1部の便利なお支払!

加入期間	加入料	掛金
1年	3,290円	3,290円
2年	6,580円	6,580円
3年	9,870円	9,870円

2019年10月現在の内容です。